

第2回検討委員会 開催概要

「道の駅」整備に向けて、検討委員会を開催しました

那珂市では、那珂インターチェンジ周辺地域を核とした活力あふれるまちづくりの実現に向け、複合型交流拠点施設「道の駅」の整備について検討を進めています。

道の駅の整備に向け、学識経験者や市内事業者、市民代表らが参加し、検討委員会を開催しました。7月22日（金）に行われた第2回の検討委員会では、道の駅設置場所の候補地や導入機能の基本方針などについて意見交換を行いました。

今後は、委員の皆様の意見を踏まえながら、整備・管理運営手法の方針を整理し、基本構想（案）を作成します。また、具体的な導入機能や施設規模については、基本計画において、交通量情報やビッグデータを用いた需要予測等を踏まえた上で慎重に検討を進めていきます。

■ 主な協議内容

- ・基本理念、コンセプトについて
- ・設置場所候補地の比較検討について
- ・導入機能の基本方針（案）について
- ・基本構想（素案）について



委員による意見交換



オブザーバー



検討委員会のような様子

委員からの主な意見

- 飯田押敷交差点（北西側）の敷地が、出入口の自由度など様々な観点を考慮した場合に良いと考える。
- イニシャルコストだけでなくランニングコストも踏まえて導入機能を検討する必要がある。
- 観光 DX 等も取り入れながら、マーケットデータを取得し、その後のマーケティングに役立てると良い。
- 若い人たち向けの施設として、カフェや目玉となる店舗が必要と考える。
- 地域住民向けの機能と地域外からの来訪者に向けた機能のどちらかに主軸を置く必要があると考える。
- SDGs をコンセプトに取り入れつつ、那珂市から発信していく必要がある。
- 農産物直売所や体験農場を設置する場合は、準備期間も踏まえて早めに動く必要がある。

まとめ: 活発な議論が行われ、特に、導入機能の基本方針について多くの意見が挙がりました。

委員の皆様から頂いた貴重な意見を踏まえ、道の駅の整備について検討を進めていきます。

今後の検討委員会のスケジュール（予定）

